

第5回 甲府市上下水道事業推進会議 会議録

- 会議の名称：第5回 甲府市上下水道事業推進会議
- 開催日時：令和4年11月22日（火）午後3時00～午後4時35分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：風間ふたば委員、落合圭子委員、中澤謙一郎委員、石平博委員
大久保一雄委員、小沢忠雄委員
- 欠席委員：野村千佳子委員

■ 次第

- 1 開 会
- 2 報告事項
- 3 議 事
 - (1) 甲府市上下水道事業経営戦略「第5次戦略推進計画」の進捗管理（中間）報告について
 - (2) 令和4年度甲府市上下水道事業「お客様満足度調査」の結果概要について
 - (3) 「甲府市上下水道事業推進会議」からの提言に向けて
 - (4) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉 会

■ 議事

- (1) 甲府市上下水道事業経営戦略「第5次戦略推進計画」の進捗管理（中間）報告について

【会 長】

次第3の議事に移らせていただきます。議事(1)は「第5次戦略推進計画」の進捗管理（中間）報告について、事務局からの説明の後、委員の皆さまのご意見等をいただきたいと思います。議事3にありますように「甲府市上下水道事業推進会議」からの提言に向けましては、委員の皆さまのご意見等が土台となりますことから、各議事におきまして、委員の皆さまからのご意見等をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局より説明)

【委員】

各事業において、目標が達成できないとなった場合に、次年度の目標に含まれることになるのか、どのような処理をされるのか説明をお願いします。

【事務局】

各目標につきましては、当初予算に係る目標を定めておりました、目標が達成できない分につきましては、当初分に加えるという考え方です。

【委員】

鉛製給水管対策事業について、上半期の実績は、利用者との調整等のため伸び悩むものの、実績見込みは下半期に大きく進捗するよう感じます。上半期の進捗が落ち込むのは止むを得ないものでしょうか。

【事務局】

上半期の実績につきましては、概ね前年度からの繰越工事が継続している状況であり、それらの完成分であります。当年度に発注した工事は、年度内完成し下半期の実績となってきます。

【委員】

水源保全活動推進事業の業務指標である「水源保全活動参加者数」は、わかりやすい数値ではあるものの、人数目標は設定も難しいため、やむを得ない結果であると感じています。自由に参加を求めるイベントでは人数の把握が難しいですし、例えば、学校において説明するなどタイプの違うイベントを行うと、ある程度人数も把握できると思われるため、対象者を決めるイベントを行うことで人数の見通しも立つと感じました。

【委員】

10か年の経営戦略のうち、約半分の第5次ということですが、多くの事業が順調に進捗している中で、鉛製給水管対策事業の進捗が遅れているという説明がありました。この中で、給水装置の改造工事に伴う布設替えというのは、新築やリフォームと同時に行うということでしょうか。

【事務局】

給水装置の改造工事に伴う布設替えは、お客様の宅内の工事申請にあたり、道路側に鉛管が残されている場合、お客様にその存在を明らかにするとともに、承諾を得たうえで、本局の費用にて布設替えを行っていく事業であります。

【委員】

宅内の工事を申請されたお客様は、早く工事を行いたいなどを理由に承諾を得るのが難しいケースもあるかと思われそうですが、粘り強く説明し承諾を得るなど、積極的に進めていってほしいと思います。

また、下水道の管路施設の調査及び改築事業について、法定耐用年数が50年を過ぎた管が急増しているということで、壊れたら直すという感じがしてしましますが、50年過ぎた管は交換するという方向で検討をしていただけたらと思います。

【事務局】

法定耐用年数を過ぎた管路につきましては、ストックマネジメント計画に基づき調査を行い、必要な箇所から改築を行っております。国庫補助の関係もあり、思うように進まない状況もありますが、今後におきましても事故防止に努めてまいりたいと考えております。

【会長】

鉛製給水管、また、法定耐用年数を過ぎた下水道管につきましては、積極的に対策を行ってほしいと思います。

【委員】

鉛製給水管や下水道管の整備については、予算の関係もあり、難しいところもあると思うので、引き続き、対応していただけたらと思います。

水源保全活動推進事業の指標である「水源保全活動参加者数」につきましては、人数を目標にされていますが、人数よりも回数のほうが指標としては望ましいのではと感じております。

また、災害対策について、「総合的な危機管理対策の強化」において、訓練を実施するなど進捗は順調とのこと。静岡市の断水を見ても、水が復旧しないことでお風呂に入れないなど、復旧の遅れにより不便をかけることになるとは思いますが、災害時の復旧の目途はどの程度の期間を見込んでいるのでしょうか。

【事務局】

災害時は、復旧まで72時間、3日間の飲用水を確保する応急給水体制をとっております。その後、本管などの復旧に対応してきます。本局としましては、市民の方々に3日間の飲用水を備蓄しておいていただければ、復旧に耐え得る時間となると思われま。

下水道につきましては、上水道を優先して復旧してまいりますが、下水道につきましても、並行して復旧していくこととなります。

【委員】

飲用水については了解しました。管路の復旧につきましては、災害規模の違いなどあるとは思いますが、早期復旧していただけたらと思います。

【事務局】

補足させていただきます。耐震化等の計画におきましては、応急復旧の目標を定めております。この目標は、阪神淡路大震災の神戸市の復旧実績（復旧の速度）をもとに予測をしております。そして、最も大きな直下型地震の際、応急復旧目標を4週間と掲げております。そして、それに見合う受援体制の構築や管路の耐震化事業を進めております。

【事務局】

各避難所に非常用貯水槽（給水区域内に35か所設置：令和3年度末時点）を設置しており、3日間の飲用水を確保しております。本局としましては、水道施設の復旧に努めるとともに、まず、病院などの施設における受水槽への応急活動を行うこととなります。

先日、11月13日に甲府市総合防災訓練が行われましたが、各地域の甲府市の担当職員（地域連絡員）が地域の方々と一緒に非常用貯水槽の使用や簡易トイレの組み立てなどを行うこととなります。危機管理対策となると甲府市全体の業務となりますが、本局としましては、上下水道施設の復旧を早期に努めていく形となります。

【委員】

これだけの事業がある中で「C評価」が4事業というのは、大変素晴らしいことであると思います。その中で、水源保全活動推進事業について、「水源林植樹の集い」などは、実施していることも知りませんでした。もう少し広報の仕方を考えたほうが良いと思われまます。また、下水道事業の「管路施設の調査及び改築事業」に関連し、近所で夕方になると「匂いがする」など自治会でも話があります。このような事案に早期対応を行ってほしいと思います。

【事務局】

そのような市民の方々からいただいた情報はデータベース化し、優先的に計画に取り込み、改築していくよう検討しております。

【委員】

水源保全活動推進事業につきまして、参加人数を目標として設定するかは、「第6次戦略推進計画」の策定時に検討いただければと思うのですが、第5次計画を進めていくにあたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加人数を制限しなければならないことを考えると、この状況は大きく変わらないと思われまますので、目標値を現実的な数値に調整することもひとつの方策ではないかと思われまます。

【事務局】

水源保全活動推進事業の業務指標であります「水源保全活動参加者数」は、経営戦略策定以前の実績数から設けた目標値であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも、目標達成が大変厳しい状況ではあります。ウィズコロナを念頭に活動の回数を増やすなどの検討も行っていきたいと考えております。

【会 長】

それでは、他に意見はないようですので、「第5次戦略推進計画」の進捗管理（中間）報告については、承認としたいと思います。

(2) 令和4年度甲府市上下水道事業「お客様満足度調査」の結果概要について

【会 長】

次に、議事(2) 令和4年度甲府市上下水道事業「お客様満足度調査」の結果概要について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

【会 長】

回答者の年齢構成を教えてください。

【事務局】

回答者の年齢構成につきましては、「70歳以上が42.0%」「60歳代が20.3%」「50歳代が14.9%」「40歳代が10.6%」「30歳代が8.1%」「20歳代が3.4%」「20歳未満が0.5%」となっております。

【会 長】

回答者の年齢構成は、50歳以上が7割以上となっているということです。

【委 員】

調査の中で、他の公共料金（電気やガス）との比較については、前回調査と比較して「高いと思う」と「安いと思う」の回答結果が逆転した結果であったとの説明がありましたが、「現在の水道料金をどのように感じていますか」の問いにつきましては、前回調査と比較して変化はありましたか。今回の調査では、「災害対策等の取組」や「独立採算制」の認知度についての問いを追加したうえで、水道料金・下水道使用料についてどのように感じているかを調査したものと認識しています。

【事務局】

前回調査におきましては、水道料金・下水道使用料について、「満足」か「不満」かを調査しておりました。聞き方が異なっているため、今回調査と前回調査の比較は難しいですが、今回調査において質問を工夫したことにより傾向がわかったというところであります。今後の広報等におきましても、説明の仕方が大事ということを感じているところであります。

【委員】

「水道管の耐震化、浄水場の耐震化や浸水対策、老朽施設の更新などの対策を行っていることをご存知ですか」の問いで、「知らない」の回答が約40%と最も多い結果でありましたが、今後、どのように事業をPRしていく考えでしょうか。

【事務局】

調査結果から、本局の各事業について市民に対して十分に伝わっていないというのは、回答率からも見られるところであり、認識したところであります。今後につきましては、年に1回全戸配布しております「水道だより特別号」などを、有効活用していきたいと考えております。

【委員】

調査結果の年齢構成も高齢の方が多いということです。やはり、若い方々、子供たちに各事業を教える必要があると思います。将来にわたり興味を持って活躍してくれる人材が育つ可能性があると思います。

【委員】

広報活動の調査の中で、ボトルドウォーター「甲府の水」の認知が意外と低いと感じました。「甲府の水」は、商品化した販売品ではないのでしょうか。これまで商品として、どの程度販売しているのでしょうか。

【事務局】

ボトルドウォーター「甲府の水」は、啓発グッズとして頒布する目的で製造しております。お買い求めになる方もいらっしゃるので、有償頒布も行っており、約2万本頒布しております。イベントなどにおいて「甲府の水」のおいしさをPRするため、平成20年度から有償を含め約28万本頒布しているところです。

【委員】

調査にご協力いただいた方に「甲府の水」をプレゼントということで、回答率の向上を期待していたところですが、残念ながら回答率が下がったということです。今後の調査におきまして、回答率の向上に「甲府の水」を有効活用していただけたらと思います。

また、調査対象者の年齢構成につきまして、年齢ごとに抽出しているのか、無作為で抽出しているのでしょうか。

【事務局】

給水世帯の年齢構成は把握できていないため、無作為抽出になります。

【委員】

若い方々に興味を持っていただく、調査を通じて事業を知ってくださる方もいらっしゃるように、子供たちに教育をしていくことが有益であると思います。小中学校などで教育を行うことで上下水事業に興味を持ってもらうことが大切であると感じました。

【事務局】

昨年度、小学生向けに教育小冊子を作成しました。平瀬浄水場の社会科見学における配布、また、小学校の授業で活用していただけるよう配布しているところです。今後におきましても、この小冊子を活用した小学生へのPRを行っていきたいと考えております。

【委員】

お越しいただいた方への配布も有効であると思いますが、学校へ出向いて興味を持っていただけるような取り組みの検討も行ってほしいと思います。

【会長】

それでは、他に意見はないようですので、令和4年度甲府市上下水道事業「お客様満足度調査」の結果概要については、承認したいと思います。

次に、議事（3）「甲府市上下水道事業推進会議」からの提言に向けて、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

【会長】

昨今、電気料金が非常に高騰しております。私の職場におきましても、昨年の約2倍に高騰しており、大きな負担となっております。上下水道局におきましても同様であると思われませんが、これに対する対応策をお聞かせください。

【事務局】

下水道事業につきまして、浄化センターにおける電気料金は、前年度に対しまして約120%となっております。今年度の予算的には不足となる見込みですが、夏季にナトリウム硫黄電池設備による電力を使用し、ピークカット割引により年間約1,000万円の節約を行ったところです。また、電力会社より省エネプログラムという節電による割引も示されておりますことから、今後も活用していきたいと考えております。

【事務局】

水道事業におきましても、今年度の予算的には不足となる見込みです。何かを削減して電氣量が削減されるといったことはないですが、各照明施設のLED化による節電や小水力発電による電力の活用などを行っております。

【事務局】

電氣料金の高騰に伴う予算不足に対しましては、12月の市議会において補正予算を上程予定となっております。補正額は、水道事業で約3,000万円、下水事業で約6,000万円を予定しております。

【会 長】

エネルギー関連につきましては、これまで以上に工夫し、配慮していかねばならない点があると感じております。

【委 員】

補正予算というのは、独立採算予算ではなく、甲府市の財政からいただく予算のことでしょうか。

【事務局】

上下水道事業につきましては、公営企業でありますので独立採算制により、基本的には皆さまからいただいた水道料金・下水道使用料で賄うかたちとなります。水道事業につきましては、すべて自己財源となります。下水道事業につきましては、一部の事業につきまして公共的、福祉的な側面がありますので、一般会計からの負担がありますが、これは国の基準に基づいて支出されるものです。

【事務局】

現在、電氣料金などの物価高騰により光熱水費といわれる電氣やガス料金の値上げが続いており、本局の経営を圧迫しているところです。このような中、来年度に水道料金等審議会を設置して、令和6年度から令和8年度までの3年間の財政計画について、各事業を継続していけるか審議していただくこととなります。料金等改定につきましては、令和5年度に審議いただき、最短で令和6年度に改定となりますが、3年前に設置した水道料金等審議会において審議いただいた財政計画からは大きく負担増となっており、想定がつかない状況であります。今年度、来年度につきましては、内部留保資金を活用し事業継続していきますが、来年度設置の水道料金等審議会におきましては、昨今の物価高騰を配慮していただきたいと考えております。地方公営企業でありますので、省電力化等による費用の削減にも努めてまいります。財政的には極めて厳しい状況であることをご理解いただければと思います。

【会 長】

次回、第6回会議において、今までの会議での意見の論点を整理し、提言案としてまとめ、第7回で「提言」という流れになります。

提言案をまとめるための「たたき台」となる素案につきましては、これまでの会議を踏まえて私と事務局で作成し、用意したいと思いますが委員のみなさまいかがでしょうか。よろしければご一任いただきたいと思います。

【各委員】

異議なし。

【会 長】

他に意見はないようですので、「甲府市上下水道事業推進会議」からの提言に向けては、承認としたいと思います。

これで、次第の3「議事」を閉じさせていただきます。

以 上